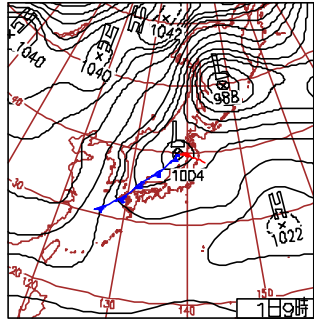


2002年 1月

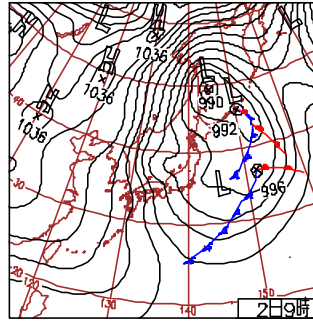
- ・ 2日～3日、輪島上空の約5500mに-41.7の寒気、北陸・山陰で大雪。名古屋でも積雪17cm。
- ・ 7日～9日、日本海低気圧が発達。全国的に大荒れの天気。
- ・ 21日～22日、26日～28日、南岸低気圧が発達、各地で大雨・大雪・暴風。浦河最大瞬間風速40.0m/s。

(気象庁予報部予報課)



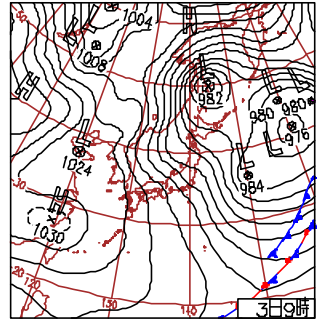
1日(火) 穏やかな元旦

低気圧が日本海から東北地方を通過。日本海側など一部は雨や雪が降ったが、太平洋側は晴れや曇り。東京は日中南西の風が入って14.3の暖かさ。



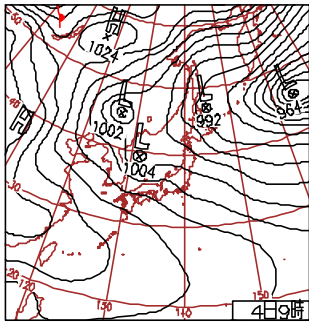
2日(水) 北陸・山陰で大雪

低気圧は千島近海で発達。北陸山間部で日降雪量50cmを超える大雪。室戸岬で最大瞬間風速33.6m/sなど西日本は強風・高波。千葉・大阪・高知・鹿児島など各地で初雪。



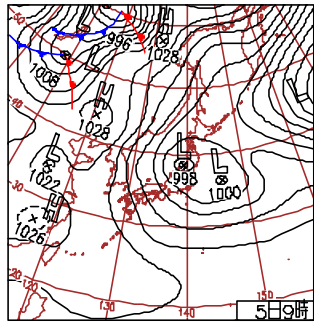
3日(木) 名古屋大雪警報

今季一番の寒気が入り、北陸・東海で大雪、岐阜県高山で日降雪量55cm。名古屋は積雪17cmで、1月としては史上2位の記録。交通機関混乱し、年始のUターンに影響。



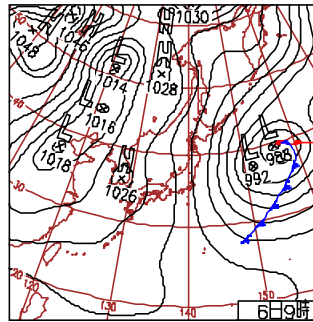
4日(金) 寒気抜ける

日本海から低気圧が近づき、北陸以北は雨や雪。太平洋側は大体晴れたが、朝方冷え込み東京など今季初の冬日。南大東島と石垣島でヒカンザクラ開花、石垣島は最早記録更新。



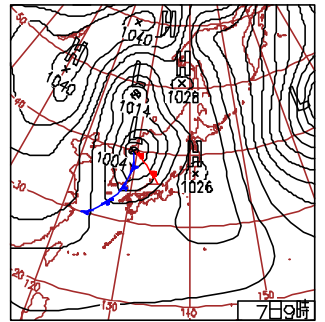
5日(土) 寒冷低気圧東進

再び寒気が入り、冬型の気圧配置。山陰・北陸や中部地方で雪や雨。東北地方は大雪、暴風も吹き荒れ被害多数。仙台の最大瞬間風速33.3m/sは1月の記録更新。



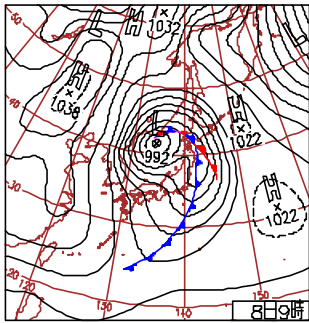
6日(日) 冬型の気圧配置緩む

初めは西高東低の冬型気圧配置だったが、高気圧が黄海から本州方面へ進み、全国的に天気回復。朝方冷えて鹿児島県枕崎で初霜、長崎県福江で初氷。



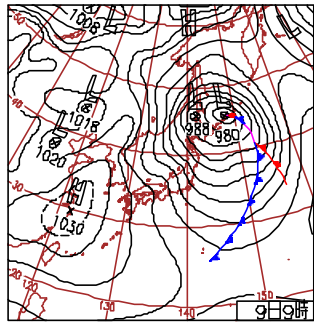
7日(月) 西日本強風

寒気を伴った低気圧が発達しながら日本海を北東へ。各地で雨、西日本は強風、金沢で最大瞬間風速34.3m/s、停電や列車遅延。東京も夜には雨降り出す。



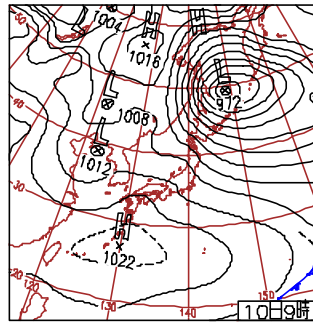
8日(火) 日本海低気圧

低気圧は発達を続け北東進。北日本は大雪、十勝支庁糠内の日降雪量41cm。本州各地は暴風で、新潟県相川で最大瞬間風速32.6m/s、松江と千葉で31.4m/sなど。高波被害も発生。



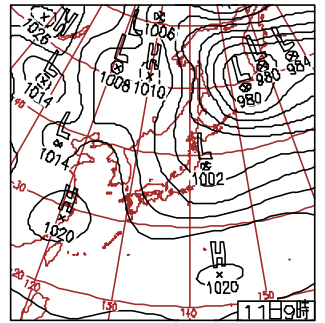
9日(水) 北日本冬型の気圧位置

低気圧はオホーツク海へ進み、北日本中心の冬型の気圧配置。北日本と北陸から山陰にかけては雪や雨で、交通機関の混乱続く。長野県鬼無里で24時間積雪差40cm。



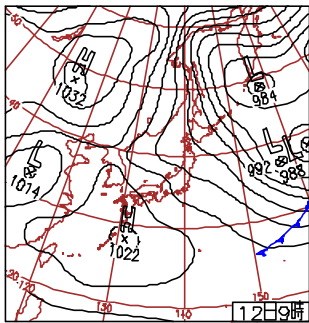
10日(木) エルニーニョ発生か

発達した低気圧はオホーツク海に停滞だが、高気圧の谷が接近し、本州日本海側で雪や雨。八丈島で最大瞬間風速35.3m/s。気象庁は春以降のエルニーニョ発生予測を発表。



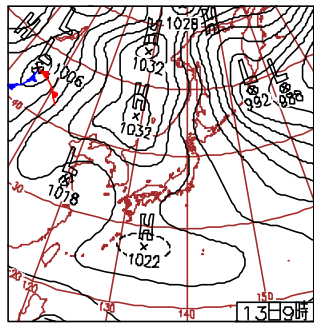
11日(金) 寒気抜ける

上空の寒気を中心は東海上へ。北海道や本州日本海側で雪や雨が降ったが、本州太平洋側は晴れて暖か。東京の最高気温15.4、4月上旬並み。鳥取県米子で黄砂観測。



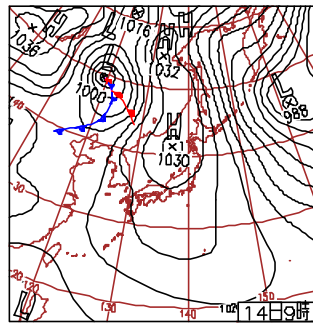
12日(土) 台風第1号発生

気圧の谷が通過し、北海道や本州の日本海側の一部で雪や雨。東京は2日続きで暖かく最高気温14.9。フィリピン東海上の台風、名前はターファーでマレーシアの魚の名。



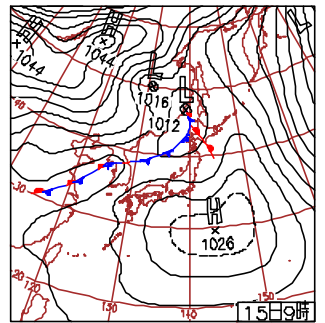
13日(日) 移動性高気圧

西から移動性の高気圧に覆われる。北海道の一部で雪、九州南部で雨の他はほぼ全国的に晴れ。晴れや曇りどころは最高気温軒並み平年より3～7度高く、3月から4月並み。



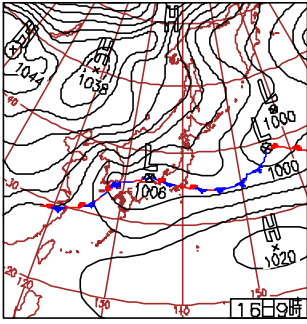
14日(月) 暖かな成人の日

移動性高気圧に広く覆われたが、高気圧の縁にあたる九州から四国にかけて雨。気温は北日本を除いて引き続き高めて、新潟県安塚町で融雪により土砂災害発生。



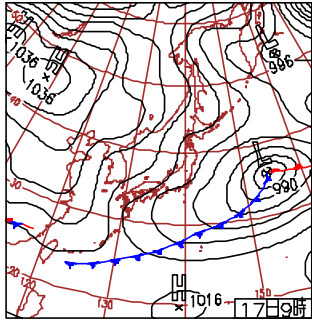
15日(火) 東京で梅開花

低気圧が北海道の北を通過し、本州付近を前線が南下。東北地方太平洋側や関東を除き、全国的に雨や雪。東京の最高気温4月中旬並みの18.1でウメ開花、平年より2週間早し。



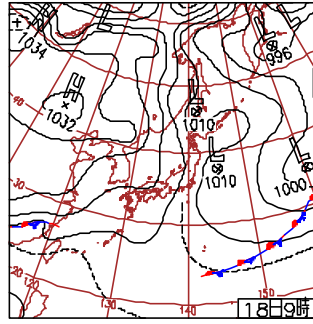
16日(水)雨と南風

前線を低気圧が通過し全国的に雨や雪。先島諸島は大雨で、与那国島の日降水量119.5mm。南風が吹き込み最低気温が高く、福岡15.2 など1月の記録。大阪は濃霧で海難も。



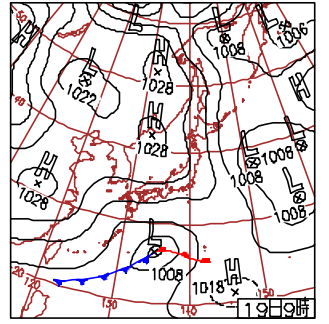
17日(木)冷たい北東風

北海道や本州日本海側は雪や雨。東海以西の太平洋側は晴れたが、関東は北東風で曇りや雨の肌寒い一日。網走で流水接岸初日、平年より15日早い。



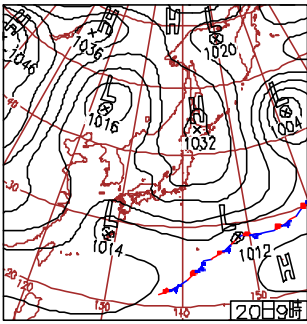
18日(金)東シナ海低気圧

弱い気圧の谷が通過し、北陸以北の日本海側で雪。南西諸島で低気圧の雲域がまとまりだし、雨のところも。気象庁が2002年の世界の平均気温は史上3位の暖かさだったと発表。



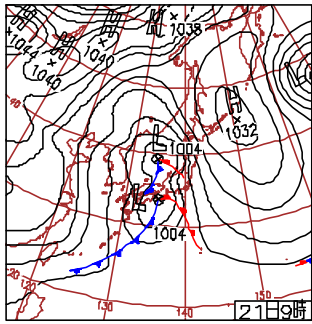
19日(土)岩木山でなだれ

低気圧は本州から離れて東へ進み、九州南部と南西諸島で雨が降った。気温も平年並み。青森県岩木山でなだれ発生、山スキーの2人遭難。



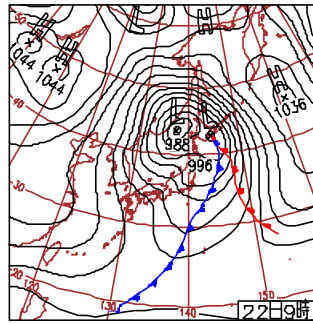
20日(日)大寒で冷え込む

冷たい高気圧が北日本から本州付近を覆う。北日本は今季一番の冷え込み、上川支庁江丹別で-31.9。低気圧の影響で本州南岸の一部で雨。朝方、伊豆大島で震度4の地震。



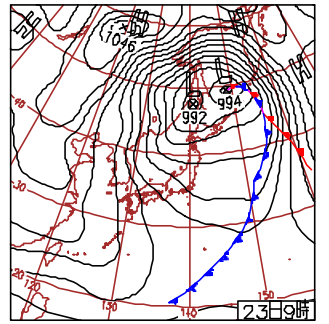
21日(月)冬の嵐

低気圧が通過。北海道日高支庁浦河は最大瞬間風速40.0m/sの暴風雪、十勝支庁糠平で24時間降雪量61cmの大雪。三重県尾鷲で日降水量225.5mmの大雨。東京は冬の雷雨。



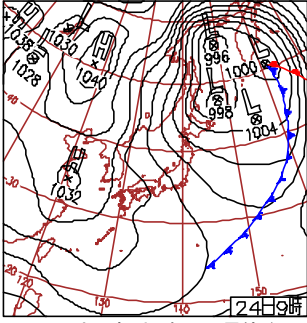
22日(火)西日本で雪

発達した低気圧で北海道は暴風・大雪、関東も南西の強風。西日本も寒気入り各地で降雪。波浪注意報が発表された鹿児島県大浦町の東シナ海海岸にマッコウクジラ漂着。



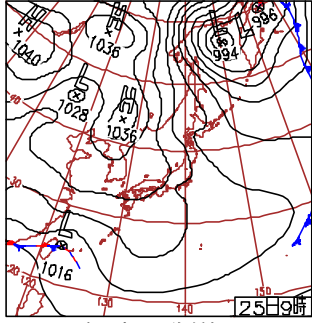
23日(水)冬型の気圧配置

発達した低気圧はオホーツク海へ進み、冬型の気圧配置。北海道から北陸にかけ日本海側で雪、瀬戸内海沿岸や四国でも雪が降り、室戸岬は平年より15日遅い初雪。



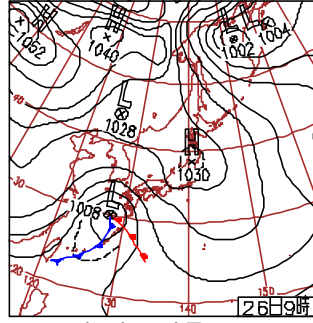
24日(木)冬型の気圧配置続く

冬型の気圧配置で、北日本、北陸や山陰の雪降り続く。夕方前、鳥取県西部で地震、島根県安来市、鳥取県西伯町など震度4。



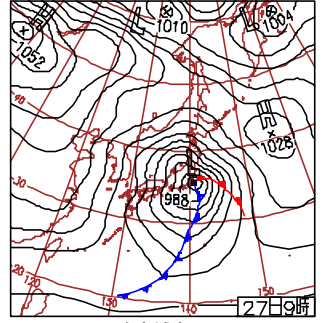
25日(金)東シナ海低気圧

次第に高気圧に覆われ、日本海側の降水も一休み。台湾付近で雲域まとまり始め、九州から南西諸島では雨。与那国島は最大瞬間風速22.5m/s、日降水量71.5mmの風雨。



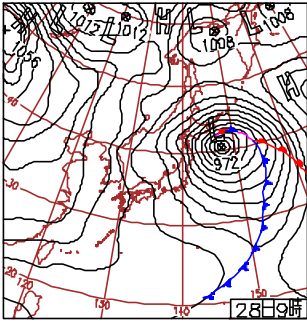
26日(土)大雨と大雪

低気圧が発達しながら東北東進し九州は大雨、屋久島日降水量131mm。東北部から関東は雪や雨で、24時間降雪量は山梨県河口湖で45cm、群馬県草津40cm。各地に大雪警報。



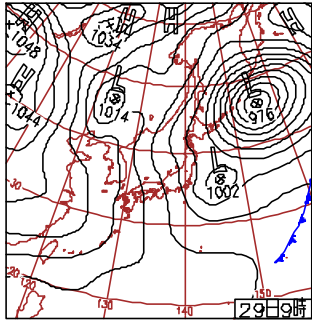
27日(日)降水域東へ

低気圧は発達しながら関東を通過、東京都心は一時みぞれの大雨となり、24時間降水量51.5mmは1月として第2位。若手県沖でM5.3の地震、若手県釜石市などで震度4を観測。



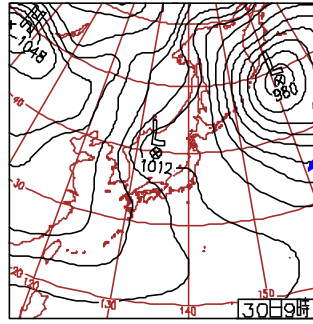
28日(月)暴風、高波

低気圧が北海道の東で発達。北海道各地で暴風や大雪、根室で最大瞬間風速36.0m/s、網走支庁津別で日降雪量66cm。交通機関の運休や臨時休校相次ぐ。



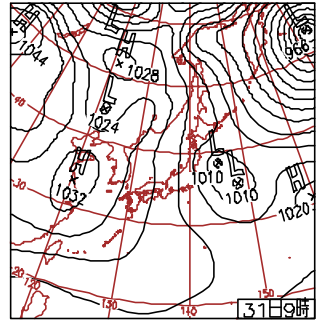
29日(火)青森で大雪

秋田上空約5200mに-40.3の寒気が入り、北海道の一部や本州の日本海側で雪や雨。青森市の日降雪量60cm。北見枝幸・雄武でも流水接岸、真冬のオホーツク観光シーズン到来。



30日(水)冬型の気圧配置弱まる

低気圧が日本海から東北地方へ。東北から山陰にかけては雪や雨。太平洋側は大体晴れて、徳島からはヒバリ初鳴の便り。平年より1か月近く早い。



31日(木)再び冬型の気圧配置

低気圧が東海上へ進み、冬型の気圧配置。1月は寒気が長続きせず、南西諸島や北陸・東海を除いて平年より1以上も暖かかった。太平洋側を中心に雨や雪が多かった。